

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●国枝栄調教師が歴代単独第10位のJRA通算1076勝を達成

6月30日(日)の2回福島2日・第7レースではクラッチプレイヤーが1着となり、同馬を管理する国枝栄調教師(美浦)は、JRA通算1076勝(延べ9023頭目)を達成しました。これは調教師のJRA通算勝利数として単独第10位(現役最多勝)となる記録です。

### ●第14回ジョッキーマイビーズの地区代表決定戦スタート

全国ポニー競馬選手権「第14回ジョッキーマイビーズ」の地区代表決定戦・選考会が6月23日(日)にスタートしました。まず兵庫県三木市の三木ホースランドパークで関西地区代表決定戦が実施され、佐々木天馬さん(小学6年生/にんにんホーススクール)が優勝。また沖縄県北中城村の中城公園で行われた沖縄地区代表選考会では岡村真花さん(中学1年生/美原乗馬クラブ)が同地区代表に選出されています。なお全国ポニー競馬選手権「第14回ジョッキーマイビーズ」決勝大会は、10月13日(日)、東京競馬場で開催予定。今後7月から8月にかけて、北海道、東北・新潟、関東、中部、九州の各地区代表決定戦が実施されることとなっています。

### ●重賞ウイナー4頭の競走馬登録抹消

2022年スポーツニッポン賞ステイヤーズS(GⅡ)などの勝ち馬シルヴァーソニック(牡8歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算23戦5勝・海外1戦1勝)、2023年アルゼンチン共和国杯(GⅡ)の勝ち馬ゼッフィーロ(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算12戦5勝・海外2戦0勝)、2021年JBC2歳優駿(門別・JpnⅢ)の勝ち馬アイスジャイアント(騾5歳/美浦・高柳瑞樹厩舎/JRA通算10戦2勝・地方4戦1勝)、2021年・2022年チャレンジC(GⅢ)の勝ち馬ソーヴァリアント(牡6歳/美浦・大竹正博厩舎/JRA通算19戦5勝)は、6月7日(金)までに競走馬登録を抹消されました。シルヴァーソニック、ゼッフィーロ、ソーヴァリアントは北海道千歳市の社台ファーム、アイスジャイアントは千葉県千葉市のちばシティ乗馬クラブで、いずれも乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●アーテルアストレアがスーパーキングレディーCで重賞3勝目

スーパーキングレディーC(JpnⅢ、7月3日、川崎、1600m)は、道中後ろから2頭目という位置から追いつけた1番人気のアーテルアストレア(菱田裕二騎手、牝5歳、父リーチザクラウン)が残り50mで差し切り勝ち。キャリックスアリード(大井)が2着、ヴィブラフォンが3着に入り、3番人気のライオットガールは5着、2番人気のミラクルティアラは6着に敗れています。

### ●東北優駿(水沢)は無敗のフジュージーン【各地の主要3歳重賞】

東北優駿(6月16日、水沢、2000m)は、アクシデントのため東京ダービーを回避したフジュージーン(牡、父ゴールデンパローズ)が2番手から向正面半ばで先頭に立って2着馬に2秒1の大差を付け、単勝元返しの支持に応じてデビュー以来の連勝を8に伸ばしました。高知優駿(6月16日、高知、1900m)は、先手を取った単勝1.2倍で圧倒的人気のプリフロオールイン(牡、父アニマルキングダム)が後続を7馬身引き離し、デビュー2戦目から8連勝で高知二冠を達成。14年ぶりに復活したフロイラインC(6月18日、門別、1700m、牝馬)は、中団から差を詰めた単勝1.8倍で断然人気のJRA(未勝利)からの移籍馬ボルラノーチェ(父キズナ)が直線半ばで抜け出して優勝しています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛ダービー～ロスアンゼルスが制す

現地6月30日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛ダービー(3歳牡牝、芝2400m)は、R.ムーア騎手の手綱で8頭立ての中団で流れに乗ったロスアンゼルス(牡3歳、父キャメロット)が直線入り口で先頭に立つと、最後はG1クリテリウムアンテルナショナルの勝ち馬サンウェイの追い上げを3/4馬身差しりぞけて優勝しました。勝ったロスアンゼルスは2歳時をG1クリテリウムドサンクルー(芝2000m)を含む2戦2勝で終え、今季初戦となった今年5月のG3ダービートライアルS(芝2000m)も制しましたが、続く前走6月のG1英ダービーは同じA.オブライエン厩舎のシティオプトロイの3着に敗れていました。オブライエン調教師は自身のこのレース最多勝記録を更新する16勝目です。

### ●G1サンクルー大賞～ドバイオーナーが快勝

6月30日にフランスのサンクルー競馬場で行われたG1サンクルー大賞(4歳上、芝2400m)は、T.マーカンド騎手を背に中団の内ラチ沿いでレースを進めたドバイオーナー(騾6歳、父ブライドオブドバイ、英W.ハガス厩舎)が直線で力強く抜け出すと、昨年のG1パリ大賞の勝ち馬フィードザフレイムに1馬身3/4差をつけて優勝しました。勝ったドバイオーナーは昨年のオーストラリア遠征で手にしたG1ランヴェットS(芝2000m)、G1クイーンエリザベスS(芝2000m)に続くG1・3勝目です。